

講演会型＋子育てサロン型＋体験活動参加型＋在宅取組型(小学校)

学校名等	安八町立 牧小学校
実施日時	H29.5/24・6/5・10/12・12/12・冬休み期間・H30.1/19
会場	牧 小学校
参加人数	15名
学習課題(分野)	親子の関わり方、ふれあい
運営者の願い	『いきいき子育て～笑顔の輪を広げよう～』をテーマに活動を計画しました。今年度は親子の絆をより深められるような内容になればと考え、親子での体験活動や取組を行いました。前年度より、親子ふれあい活動後の1週間を在宅取組としてふれあい週間を設けました。活動を通じて笑顔が見られれば良いです。

学 習 の 内 容

<開級式・講話>

校長先生より、『「小規模校のメリット最大化 デメリット最小化」を家庭・学校・地域で』というテーマで学校の取組、成果として子ども達の「非認知能力」が育まれていることを伺った。保護者として、『「新個人カルテ」をもとに家庭学習レベルアップ週間で「やる気スイッチ」をONにする』など、学校の取組とつなげながら、家庭でも生活面や学習面で心がけることを、具体的に学び、意見交流ができた。

<給食参観及び試食会・食に関する講演会・救急法講習会>

給食参観では、子ども達が協力して配膳したり、時間内に完食できたりする様子に成長ぶりを実感できた。試食会や栄養教諭の方からの講話から、地元の野菜や米を取り入れた献立で地産地消に取り組んでいることや衛生面や安全面に注力していること、朝食の大切さなど、あらためて理解できた。

また、大垣消防署の方から、教職員と共に夏休みのプール監視を全家庭保護者にやっていただくので、救急救命法の人工呼吸・心臓マッサージ・AEDの使い方・対処の仕方を中心に体験した。

<親子でリトミック>

リトミック協会の浅野先生を講師にお迎えし、親子でリトミック体験をした。音楽に合わせて走ったり、ボールやフラフープで遊んだりした。親子いっしょに体を動かし、笑顔いっぱい、楽しむことができ、充実したふれ合いの場になった。



<親子で天体観測 プラネタリウム鑑賞>

町の天文台に伺って、親子いっしょに館長の船越先生の天文教室に参加した。天体望遠鏡で天体観測をしたり、プラネタリウムを体験したりして、楽しく学ぶことができた。子ども達の好奇心を刺激し、興味のもてる内容であった。いただいた星座早見表を使って、親子で天体観測するなど、親子のふれ合いの場となった。



<ポーラセーツ教室・閉級式>

衣斐先生を講師にお迎えし、ポーラセーツ教室を行った。選んだ白いカップやお皿に絵柄をつける体験で、イラストのカットの配置を考えた。和気あいあいと会話を楽しみながら作品作りができた。その後の閉級式のお話から、子ども達のこの1年間の成長ぶりを実感できた。

<アンケートより>

- ・親子参加型は、娘との大切な思い出になった。リトミックや天体観測などいろいろな経験ができ、親子で共に活動できてよかった。
- ・はじめての小学校生活で分からないことばかりだったので、他のお母さん方や先生とコミュニケーションをとる機会に恵まれてよかった。



「ハグキャンペーン」

家族のコミュニケーションの機会を増やすために、母親委員会とともに、行った。他校の取組を参考にし、4日間取り組んだ。取組表には、「いつ」、「だれと」、「どのような」という項目で簡単に記録し、お子さんと、保護者の皆さんの感想も記入していただいた。

両親や祖母、兄弟、いところ、「ギュッした。」、「グータッチした。」や「好きな本を読んだ。」などをして、取組のよさを実感していただけた。

- ・パパといっしょにぐっすりねむれました。
- ・子どもにも親にもプラスなことが多く感じられた。



本校は、1年生の保護者対象の家庭教育学級を展開している。家庭教育への興味関心が高く、参加率もほぼ100%である。

前年度の引き継ぎをもとに、学校行事なども考慮して、保護者が参加しやすいものになっている。また、できるだけ同一日に活動を無理のないように重ね合わせて組んでいるので負担感が少なく、家庭での親子のふれ合いにつながられる内容になっている。